

# 平成24年度事務事業外部評価 評価結果と対応方針

外部評価番号	6	事業名	国保保健事業	所管課	市民健康部 国保医療課
--------	---	-----	--------	-----	----------------

各委員による評価や意見等					
評価	委員数	改善したほうがよいと思う点	今後どのように取り組むべきか		
現行どおり・拡充	7	健康保持、増進には特定健診の必要性をもっと強調する。『世界最高健康都市』スローガンの重要度アピール。	健康長寿社会の構築には欠かせない大切な事業であり、特に高齢者には積極的でわかりやすい継続的なPR等で定期的受診などの勧奨が必要。		
		-	受診率向上の為、勧奨方法を検討する。		
		「受診率を上げる為の施策」ではなく、真の健康促進を目的とした施策として幅広くアイデアを出してほしい。	市民の健康改善、医療コスト低減を目指すのであれば、体力強化に向けた「予防施策」を強化すべき。		
要改善	8	市民PR方法の改善	受診率65%未達の場合は、保険料が〇%程度あがる可能性があるというような危機意識のPR、好成绩他自治体を調査し参考にする。		
		事業の効率を高めてほしい。	現在疾病があり、治療中である保険加入の把握にて、医療機関と連携し必要な実施を行い、適正な事業内容に努めてほしい。		
		健康づくり推進課の全面協力	疾病の早期発見の啓蒙		
		若者の受診率の向上が必要。	祝祭日に受診日を検討し、受診できるようにできないか。		
		若い年齢層へのアプローチ方法	健診会場へ来ることのできない人のために、働いている場所への訪問健診は検討できないか。		
		-	予防医学の観点から保険料の減少を図る目的は大いに結構だが、成果データの把握が見えない。		
		成果を高める工夫	-		
		加入者の健康の保持増進を目的にしているが、自ら健康管理に注意を払っている人間ドック受診者より、同意書が提出されないと補助金の交付をカットする政策が不当。	国民健康保険者の受診率アップにお手紙では効果が知れている結果に思う。農協、料飲組合、各種個人事業主の所属する団体への対応が必要。		
廃止	0				
各委員評価集計結果		現行どおり・拡充	要改善	廃止	
		7	8	0	

委員会としての評価結果	<p>予防医学の重要性、また、特定健診受診率が達成できない場合に保険料の負担が増える可能性などを、市民に分かり易くPRするほか、受診率向上に向けた祝祭日の受診等、新たな取り組みも検討する必要がある。</p>	要改善
-------------	---	-----

※「委員会としての評価結果」は、各委員の評価をまとめて最終的に審議した上での評価であって、「各委員評価集計結果」の最も多い評価を評価結果とするものではありません。

## 市の検討結果

評価結果を受けて現時点で考える今後の対応方針	<p>○ 国民健康保険加入者の皆さんに、特定健診の重要性や目標受診率が達成できない場合の影響などについて、様々な機会を通じてPRを図ります。</p> <p>○ 他市町村の状況を参考に新たな取り組みを検討し、受診率の向上を図ります。</p>	改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝祭日の健診をとのご意見を頂いておりますが、現在の休日健診(年7回)の受診者数が平日より低いことから、他市町村の状況を参考に新たな取り組みを検討します。</li> <li>・ 生活習慣病予防の最も必要な年齢層でありながら、特定健診の受診率の低い40歳50歳代への働きかけを強化するため、加入者へのハガキ・電話での受診勧奨に加え、加入者の属する各種団体に受診促進依頼をします。</li> <li>・ 医療機関と連携し、特定健診の受診勧奨や特定健診の必要性についてPRします。</li> <li>・ 広報紙等様々なメディアにより、健康診査についての情報を積極的に提供します。</li> </ul>	